

鳥羽商船 同窓会
田中同窓会会長代行殿
各支部長、関係各位 殿
(c c : 校長、関係者の皆様)

国立高専（商船学科）5校合同進学ガイダンスへの協力お礼

この度、平成26年度の商船5校、合同ガイダンスが終了いたしました。
6月末の広島、7月になり横浜と神戸の3会場すべてにおいて、本校OB諸氏にお越しいただき学校説明のご協力、ご支援を賜りましたことを深く感謝いたします。

今年度は船主協会より、学校らしいPR(?)となるよう依頼されておりましたので、特に横浜と神戸の会場は若干静かな雰囲気だったように思います。今年の特徴として、広島以外の会場でも瀬戸内3校の人气が例年以上にあったように見受けられました。一方、本校のブースに来てくれた中学生親子は、いつも通り熱心な方達が多く、PR効果は十分あったと思います。

本校の入学志願者の確保、商船高専の状況・・・等々、極めて厳しい状況が続くことが予想されます。OBの皆様には今後も、当ガイダンス等でお世話をおかけする事があるかと思いますが、本校の発展と継続の為、ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

またこのガイダンスの結果、成果などが得られましたら、田中会長様にお知らせいたします。メールにて失礼いたしますが、この度のガイダンスに関する同窓会の皆様のご協力に対し、再度、深く御礼申し上げます。

鳥羽商船高等専門学校 商船学科 伊藤友仁

西日本支部、東日本支部、関西支部からの報告

6月28日 広島で開催

当日はやや早めに起床、福岡の自宅から約3時間かけて会場に到着。

勿論、開始時刻に間に合わせたが、既に会場は略満席状態で、以前の福岡会場での閑散な状況から見れば、比較にならない位、活況であった。

とは言え、個別相談では、地理的優位性から瀬戸内3校は相応に行列が出来たが、“富山”は県名で未だしも、残念ながら“鳥羽”は知名度？が低く、小生としては、伊勢神宮の近くとか、御木本パールなどの名称を出したり、永い歴史を有する由緒有る学校なりの説明をして興味を引き出し“鳥羽”のブースに誘導する様に努めた。

又、5校を代表して、航海及び機関科の卒業生（現役）のプレゼンが有ったが、何れも瀬戸内3校の出身者（弓削他）が担当した。一般的にはプレゼンをした学校の集客力？が高まるので、其の後の神戸・横浜ガイダンス会場では、“鳥羽”の出身者にもプレゼンの機会が有ったものと理解したい。即ち、プレゼンター選定には諸々の要素が有るものの、割り当ては公平になされたものと推察する。

尚、次年度以降のガイダンスに“全船協”の応援も得られるか？、検討の余地が有ろうかと思う。

西日本支部理事 中 野 正 義

7月6日横浜で開催

横浜会場では伊藤先生の報告にあったように、静かな雰囲気が進みました。

同窓会としては、上山さんと私の他に、全船協副会長として富岡栄一郎さんが参加していました。鳥羽のブースには、都合20名以上の親御さんと中学生が熱心に質問し先生の話聞いていました。例年のように同窓旗を掲げるのは控えてこちらも静かにしていました。総じて静かなガイダンスとなったように思います。

以上、よろしくお願いいたします。なお、写真は撮っていません。

東日本支部 水野正治

7月20日神戸で開催

平成26年7月20日（海の日）に5校合同進学ガイダンスが神戸港 新港第一埠頭に接岸中の航海訓練所練習船“青雲丸”に於いて日本船主協会の主催で開催された。これに関西支部から桑島相談役と関西支部長が参加し、母校ブースに於いて手伝いをしました。会場は青雲丸の教室で（180席）開かれたが、今年は例年に比べ参加者がやや少ない感がありました。

13：00時より開会、例年どおりの進行で最初は船主協会の鈴木副会長から挨拶、つづいて事務局から参加者の手元にある資料確認と説明が行われた。その後、青雲丸船長から船上教育等について説明を受け、一等航海士からは船内の設備及び船内移動時の注意点について説明がなされた。

進学ガイダンスの主題に入り、最初は商船高専の学校の特殊性と存在する意義について弓削高専の松崎先生から説明を受けた。

休憩後、日本長距離フェリー協会事務局の永田氏から長距離フェリーの実情について説明された。

つづいて、商船高専卒業生の現役航海士及び機関士（JX オーシャン、旧東京タンカー）から職場の魅力と仕事の達成感など自身の経験を基に話をされた。

その後、各班に分かれDVD鑑賞と青雲丸乗組員の協力で船内見学が行われた。

その間、学校関係者はそれぞれの学校のブースを作り参加者を待った。

今年は弓削高専の先生が代表して学校説明をしたためか最初は弓削高専のブースに比較的多く着席し説明を受けていました。

母校のブースでは最初、参加者は少なかったが入れ替わり着席し、伊藤・片岡先生に加え学生3名で分担し個別で説明を行った。他校のブースで説明が終わっても母校のブースでは最後まで参加者が残り、説明を受けていました。

自由解散で17：30時、平成26年度合同ガイダンスは終了しました。

船主協会から今年度から派手にならないようにとの通達があったことから各学校とも個別説明に近いスタイルで学校説明が行われました。

今年は例年に比べて参加者は少なかったが、受験に対しての意気込みを強く感じました。また、参加者が学校で先生・友達との間で国立高専（商船学科）入学説明会について話が出て、他の多くの生徒が興味を持ってくれることを期待し、帰途につきました。

以上

関西支部長 籠田